

WEEKDAY CAMPUS VISIT 開催レポート(開催日 H28.10.10)

東京都市大学人間科学部児童学科では、10月10日に Weekday Campus Visit (WCV) を NPO 法人 NEWVERY と共同で実施しました。高校生がフダン着の東京都市大学に会いにきてくれました。

■当日のスケジュール

- 9:20~10:50 ガイダンス・着替え
- 10:50~12:30 2限目を受講
「発達心理学(1)」または「食農文化と子育て(2)」
- 12:30~13:20 学生食堂で昼食
- 13:20~15:00 3限目を受講
「児童家庭福祉(2)」または「幼児の身体表現指導法」
- 15:10~16:30 振り返りワーク

～ガイダンス～

授業を受ける前にまずは、ガイダンスからスタート。今日1日大学生として過ごすうえで大切な心構えや目的をコーディネーターからレクチャー。また、簡単なワークを通じて、大学や学部に対する思い浮かぶことをグループで話し合い、少しずつ大学の中身についてイメージを膨らませ、これから大学生として授業に臨む意識が高めていました。また、どんな授業に参加出来るのか期待に満ち溢れている様子でした。



ガイダンスの様子



ガイダンスの様子

～2限目の授業を受講～

2限目の授業は、選択制。発達心理学（1）では、テキストを使って、主に乳幼児の行動心理について授業が進みました。発達に応じて成長する乳幼児の様々な言動を理解するには、少々高校生にとって大変そうでしたが、懸命にメモを取っていました。食農文化と子育て（2）では、畑で収穫したさつま芋を天ぷらや大学芋に調理して、実食しました。自分達で育てた作物を「食べること」を体感することにより、食育の大切さについて学びました。受講後、高校生は、「虫も多い本物の畑で授業していることに驚いた」、「実際に体験してますます保育士になりたいと思えた」など、様々は感想を抱いておりました。実際の授業に参加してみると色々なことが分かってきますね。



発達心理学（1）



食農文化と子育て（2）

～ランチタイム～

2限目の授業の後は、大学生とともに楽しみの学生食堂でランチタイム。各自、豊富なメニューから注文。実際に大学の食堂を利用してみると、高校とはまた違った雰囲気の中、ランチタイムを有意義に過ごしていました。



学生食堂でランチタイム



学生食堂でランチタイム

～3限目の授業を受講～

3限目の授業も選択制。「児童家庭福祉（2）」では、現代社会で児童を取り巻く問題を取り上げ、その解決に向けて、法律や規則を把握するとともに最適な支援内容を考案してきました。複雑な犯罪や児童が引き起こす問題行動等についてその背景や経緯も理解するには、色々な角度からの検証が必要ですね。高校生にとって、実際に社会問題になっている内容を把握することは大変そうでしたが、キーワードを聞き漏らさないように課題シートへ記入していました。幼児の身体表現指導法では、言葉が未発達な乳幼児とコミュニケーションを取る手段として、身体を使って伝えることを体験。高校生は、大学生の輪に入り、リズム遊びやからだ遊びを通じて身体表現を身に付けていました。将来、実際に保育の現場で実践出来ることばかりでしたね。



児童家庭福祉（2）



幼児の身体表現指導法

～振り返りワーク～

2コマ合計200分の授業を受けた学生は、再びガイダンス会場に戻り、それぞれ感じたことをグループで共有。感じたことを自分の言葉で相手に説明することは、振り返りワークとして大切であり、進学目的が明確になってきますね。実際に大学の授業を受けてみると、「実際の授業体験をして、以前よりもこの大学で多くのことを学びたい」、「自分の興味あることにどんどん追求して深めていきたいと思えた」など、高校とは違う点をたくさん発見し、今後の大学選びにおいて貴重な1日となった様子でした。



振り返りワークの様子



振り返りワークの様子